

バングラデシュにおける病院（Aichi 病院）の周産期医療周辺情報

a. 病院概要

Aichi 病院(120 床)は、EWMCH の系列病院であり、内科、産婦人科、小児科を中心に中高所得者層をターゲットとしている私立病院である。産婦人科病棟とNICU の視察を実施した。助産師は不在である。

b. 病棟・分娩室

児はコットで母児同室である。実際に分娩の様子の見学はできなかった。全例ではないがCTG モニターも使用しているとのことで比較的分娩管理が適切に行える環境にある。黄疸は見た目で判断し、必要と思われた時に血液検査を行っている。

c. NICU

呼吸障害、肺炎、双子の低出生体重児が入院中であった。人工呼吸器が設置されていたが、使用できない状態であった。心電図、SpO2 モニター、保育器4 台が稼働していた。32 週1300g（双胎の1 児）がコットに収容されていた。低栄養状態で皮膚色も不良、活気もない様子であり、点滴等はされておらず、児の管理方法に改善の余地がみられる。